

瀧口修造／加納光於 《海燕のセミオティック》 2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造

開催および一般前売券販売開始のご案内

富山県美術館では、2019年11月1日(金)～12月25日(水)の間、企画展「瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティック》2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造」を開催します。一般前売り券は9月15日(日)より販売します。

皆様にはご取材および広く告知へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



瀧口修造／加納光於 《海燕のセミオティック》 2019
詩人と画家の 出会い 交流 創造

美術評論の分野でも活躍した詩人・瀧口修造と、1950年代から独創的な版画作品により国内外で高く評価されてきた美術家・加納光於は、30歳の年の差ながら四半世紀にわたる創造的な交流を持ったことが知られています。

常に新しい挑戦を続けてきた加納は、80年代以降には色彩あふれる絵画作品に力を注ぎますが、瀧口亡き後、その眼差しを意識し続けてきたと言います。

本展では、絵画や版画、オブジェなど、初期から近年までの加納の代表的な作品を紹介するとともに、瀧口と加納の共同制作作品や、交流を示す資料や書簡、約250点を展示し、強く共鳴しあった二人の精神と創造に光を当てます。



2019年11月1日(金)～12月25日(水)

開館時間 9:30～18:00 (入館は17:30まで)
 前期: 11月1日(金)～11月26日(水)
 後期: 11月27日(木)～12月25日(水)
 休館日: 9月15日(日) 10月10日(木) 11月23日(土) 12月31日(日)
 Opening Hours: 9:30AM-6:00PM (Last admission is 5:30PM)
 Exhibition Closed: November 5, 6, 12, 26, 27 December 1, 11, 18
 主催: 富山県美術館、富山県立美術館、TAD Toyama
 共催: 富山県立美術館、TAD Toyama
 協賛: 富山県立美術館、TAD Toyama
 協賛: 富山県立美術館、TAD Toyama
 協賛: 富山県立美術館、TAD Toyama



お問い合わせ

富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20

tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712

メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当: 広報に関して: 川浦(広報)、展覧会に関して: 遠藤、碓井(普及課)



富山県美術館
アート＆デザイン

【開催概要】

展覧会名： 瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティック》2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造

開催日： 2019年11月1日(金)～12月25日(水)

前期：11月1日(金)～11月26日(火) 後期：11月28日(木)～12月25日(水)

休館日： 毎週水曜日(ただし、12月25日は開館)、11月5日(火)

開館時間： 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

会場： 富山県美術館 2階展示室3, 4

観覧料： 前売一般 700円、当日一般 900(700)円、大学生 450(350)円

※高校生以下無料。()内は20名以上の団体料金。

※一般前売券の販売は、9月15日(日)～10月31日(木)まで

【前売券販売所】富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

主催： 富山県美術館、北日本新聞社、富山テレビ放送

企画協力： ギャラリー東京ユマニテ

【本展の見どころ】

①瀧口修造と加納光於、両氏の交流の軌跡を、共同で制作した詩画集とその原画、原稿、両者が交わした書簡など、豊富な作品と資料で紹介します。

②私家版^{しかぼん}限定8部のみで制作された、最初期の版画集《植物》(1955年)から、37点組の油彩の最新作《海燕のセミオティック》(2018年)まで、加納光於の代表作を展示します。



③南画廊^{みなみがろう}で発表したデカルコマニー^{デカルコマニー}※の代表作、瀧口修造《私の心臓は時を刻む》(1962年)全100点を展示します。

※デカルコマニー

フランス語で「転写絵」を意味する。紙などに絵の具を垂らし、乾かないうちに別の紙などを押し付け開くと、意図しない偶発的な模様ができる技法。

お問い合わせ

富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20

tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712

メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当: 広報に関して: 川浦(広報)、展覧会に関して: 遠藤、碓井(普及課)

【作家プロフィール】

瀧口修造

1903年、富山県(旧婦負郡寒江村)生まれ。慶應義塾大学で西脇順三郎に師事し、シュルレアリスム詩の創作や、ブルトンの著作の翻訳を行う。戦後は、美術評論の執筆やタケミヤ画廊での展覧会の人選を行い、若い美術家たちの精神的な支えとなった他、1960年以降は、「造形的実験」と称される造形作品の制作にも没頭した。1979年没。

加納光於

1933年、東京都生まれ。独学で銅版画の技法を学び、実験的な銅版画作品で、50年代から国内外で高い評価を得る。1954年に会った瀧口とは、四半世紀に渡り創造的な交流を続け、詩画集『稲妻捕り Elements』、『掌中破片』を共作した。瀧口没後は、版画に加え、油彩作品の創作にも力を注いでいる。

【会期中のイベント】

※イベント(①、②)の詳細は、後日別途お知らせいたします。

①加納光於氏によるアーティスト・トーク

2019年11月2日(土) 11:00-

②林浩平氏講演会「詩人 加納光於—稲妻捕りの詩学」

2019年12月7日(土) 14:00-

③担当学芸員によるギャラリー・トーク

学芸員が展示の見どころをお話しします。

<日時>11月9日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土)

12月14日(土)、21日(土)

各日 14:00- (約30分)

お問い合わせ

富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20

tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712

メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当: 広報に関して: 川浦(広報)、展覧会に関して: 遠藤、碓井(普及課)

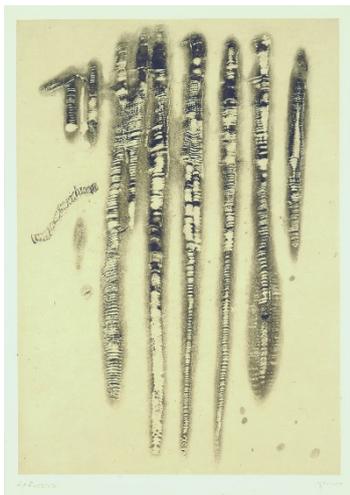


瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティク》2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造
広報用画像

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



お問い合わせ

富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当 : 広報に関して : 川浦 (広報)、展覧会に関して : 遠藤、碓井 (普及課)



富山県美術館
アート & デザイン

瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティク》2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造
 広報用画像申込書

FAX 076-431-2712 /E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■裏面の記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名			E-mail:
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
記載企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像(□にチェックを入れてください)

広報用画像一覧・掲載時のキャプション			
<input type="checkbox"/>	①加納光於 《植物》No.5 1954 - 55年 富山県美術館蔵(瀧口修造コレクション)	<input type="checkbox"/>	②加納光於 《イプノス》 1960年 作家蔵
<input type="checkbox"/>	③加納光於 《稲妻捕り》Elements No.11 1977年 作家蔵	<input type="checkbox"/>	④加納光於 《まなざしー疼く飛沫を連れ》24-V 1989年 作家蔵
<input type="checkbox"/>	⑤瀧口修造 《私の心臓は時を刻む》100点の内1点 1962年 富山県美術館蔵	<input type="checkbox"/>	⑥「瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティク》2019 詩人と画家の 出会い 交流 創造」ポスター

※その他、美術館外観等の写真が必要な場合は、下記空欄にご記載ください。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町3 - 20
 tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
 メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
 担当 : 広報に関して : 川浦 (広報)、展覧会に関して : 遠藤、碓井 (普及課)



富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送(番組)・WEB等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像は全図で使用してください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画(例:出版物表紙、広告素材使用は不可)での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録のDVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。